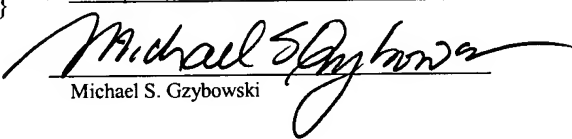


PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

<i>Group</i>		}	<u>Certificate Under 37 CFR 1.10</u>
<i>Art Unit:</i>	Unknown	}	'EXPRESS MAIL' MAILING LABEL NO:
		}	<u>EL697545415US</u>
<i>Attorney</i>		}	
<i>Docket No.:</i>	121027-199	}	DATE OF DEPOSIT: <u>September 24, 2003</u>
<i>Applicant:</i>	Hikari KAWATA et al.	}	I HEREBY CERTIFY THAT THIS PAPER OR FEE IS
		}	BEING DEPOSITED WITH THE UNITED STATES
<i>Invention:</i>	DISPOSABLE BODY FLUID	}	POSTAL SERVICE "EXPRESS MAIL POST OFFICE
	ABSORBENT PAD	}	TO ADDRESS" SERVICE UNDER 37 CFR 1.10 ON
		}	THE DATE INDICATED ABOVE AND IS
<i>Serial No:</i>	Unknown	}	ADDRESSED TO THE COMMISSIONER FOR
		}	PATENTS, P.O. BOX 1450, ALEXANDRIA, VA
<i>Filing Date:</i>	September 24, 2003	}	22313-1450.
		}	on <u>September 24, 2003</u>
<i>Examiner:</i>	Unknown	}	
			Michael S. Gzybowski

CLAIM OF PRIORITY

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

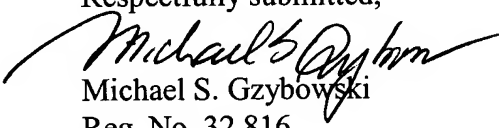
Sir:

In accordance with the provisions of 35 U.S.C. 119, applicants hereby claim priority of:
Japanese Patent Application No. 2002-283242

Filed September 27, 2002

A certified copy of the above priority document is being submitted herewith.

Respectfully submitted,


Michael S. Gzybowski
Reg. No. 32,816

BUTZEL LONG
350 South Main Street
Suite 300
Ann Arbor, Michigan 48104
(734) 995-3110

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2002年 9月27日

出 願 番 号

Application Number:

特願2002-283242

[ST.10/C]:

[JP2002-283242]

出 願 人

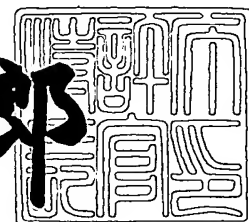
Applicant(s):

ユニ・チャーム株式会社

2003年 5月23日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3038322

【書類名】 特許願

【整理番号】 SL14P098

【提出日】 平成14年 9月27日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A41B 13/00
A61F 13/00

【発明の名称】 使い捨て体液吸収パッド

【請求項の数】 9

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 河田 ひかり

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 中下 将志

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 山内 香

【特許出願人】

【識別番号】 000115108

【氏名又は名称】 ユニ・チャーム株式会社

【代理人】

【識別番号】 100066267

【弁理士】

【氏名又は名称】 白浜 吉治

【電話番号】 03(3592)0171

【選任した代理人】

【識別番号】 100108442

【弁理士】

【氏名又は名称】 小林 義孝

【電話番号】 03(3592)0171

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006264

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9904036

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 使い捨て体液吸収パッド

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 肌当接側に位置する透液性表面シートと、肌非当接側に位置する不透液性裏面シートと、それらシートの上に介在する吸液性コアとから構成され、横方向へ延びる両端縁部と、縦方向へ延びる両側縁部とを有する縦長の使い捨て体液吸収パッドにおいて、

前記パッドが、その着用時に、着用者の腹部の側に位置する前域および臀部の側に位置する後域と、着用者の股間部に位置する中間域とを有し、前記パッドを縦方向へ引っ張ることが可能な帯片が、前記前域の端縁部から縦方向外方へ延び、前記帯片が、前記両側縁部に位置して肌当接側に固着された内側固定部と、前記内側固定部の間に延びる把持部とを有することを特徴とする前記パッド。

【請求項 2】 前記帯片が、前記両側縁部の一方に配置されて前記前域の端縁部から縦方向外方へ延びる第 1 帯片と、前記両側縁部の他方に配置されて前記前域の端縁部から縦方向外方へ延びる第 2 帯片とから形成され、前記第 1 帯片が、前記両側縁部の一方に位置して肌当接側に固着された内側固定部と、前記両側縁部の一方に位置して肌非当接側に固着された外側固定部と、前記内側固定部と前記外側固定部との間に延びる把持部とを有し、前記第 2 帯片が、前記両側縁部の他方に位置して肌当接側に固着された内側固定部と、前記両側縁部の他方に位置して肌非当接側に固着された外側固定部と、前記内側固定部と前記外側固定部との間に延びる把持部とを有する請求項 1 記載のパッド。

【請求項 3】 前記帯片の内側固定部が、前記両側縁部に沿って前記前域の端縁部から前記後域の端縁部に向かって延びている請求項 1 または請求項 2 に記載のパッド。

【請求項 4】 前記パッドの両側縁部に沿って縦方向へ延びる弾性部材が、前記パッドの前後域と中間域とのうちの少なくとも該中間域に収縮可能に取り付けられ、前記帯片の内側固定部が、前記弾性部材の収縮によって縦方向内方へ縮んでいる請求項 3 記載のパッド。

【請求項 5】 前記帯片が、弾性的な伸縮性を有し、前記帯片の内側固定部

が、前記パッドの肌当接側に収縮可能に固着されている請求項 3 記載のパッド。

【請求項 6】 前記中間域における前記コアの表裏面シート間の厚み寸法が、前記前後域における前記コアのそれよりも小さい請求項 1 ないし請求項 5 いずれかに記載のパッド。

【請求項 7】 前記中間域における前記コアの両側縁間の横寸法が、前記後域における前記コアのそれよりも小さい請求項 1 ないし請求項 6 いずれかに記載のパッド。

【請求項 8】 前記パッドの後域には、縦方向へ延びる止着テープが配置され、前記止着テープが、前記後域の肌非当接側に固着された固着部と、前記後域の端縁部から縦方向外方へ延びていて前記パッドの肌非当接側に着脱可能な自由部とを有する請求項 1 ないし請求項 7 いずれかに記載のパッド。

【請求項 9】 前記パッドでは、前記前域と前記後域とが互いに当接するように、前記表面シートを内側にして前記中間域が縦方向へ二つに折り畳まれ、前記止着テープの自由部が前記パッドの前域における肌非当接側に剥離可能に仮着されて該パッドの折り畳まれた状態が維持されている請求項 8 記載のパッド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、使い捨て体液吸収パッドに関する。

【0002】

【従来の技術】

肌当接側に位置する透液性表面シートと肌非当接側に位置する不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在し、横方向へ延びる両端縁部と、縦方向へ延びる両側縁部とを有する縦長の使い捨て体液吸収パッドは公知である（特許文献 1 参照）。

【0003】

特許文献 1 に開示のパッドは、その着用時に、着用者の腹部の側に位置する前域および臀部の側に位置する後域と、着用者の股間部に位置する中間域とを有する。このパッドの裏面シートには、環状の細長いゴムが取り付けられている。ゴ

ムは、パッドの中間域における横方向中央に配置されている。ゴムは、縦方向両端部が裏面シートの外面に固着され、両端部間に延びる中央部が裏面シートの外面から遊離している。このパッドは、パンツの内側にのせてパンツとともに着用する。このパッドは、裏面シートの外面に取り付けられたゴムがパンツの内側に接するので、ゴムが滑り止めとなってパンツに対するパッドのずれを防ぐことができる。

【 0 0 0 4 】

【特許文献 1】

特開 2 0 0 2 - 1 1 9 5 2 8 号公報（第 2 - 3 頁、第 1 図）

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

特許文献 1 に開示のパッドは、その着用時にパッドをパンツにのせるだけなので、パッドそれ自体が着用者の肌に密着することではなく、パンツを介してパッドを着用者の肌に密着させる必要がある。このパッドは、パンツが着用者の股間部からずれ下がると、それにともなってパッドも股間部からずれ下がり、パッドが着用者の肌から離間してパッドに体液を吸収させることができない。また、このパッドは、パンツとともに着用しなければならないので、特に寝たきりの着用者にパッドを着用させる場合、パンツを着用させた後にパッドをパンツの内側にのせなければならず、パッドの着用に手間を要する。

【 0 0 0 6 】

本発明の課題は、着用に手間を要せず、パンツを介さずに着用者の肌に密着させることができる使い捨て体液吸収パッドを提供することにある。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するための本発明の前提は、肌当接側に位置する透液性表面シートと、肌非当接側に位置する不透液性裏面シートと、それらシートの間介在する吸液性コアとから構成され、横方向へ延びる両端縁部と、縦方向へ延びる両側縁部とを有する縦長の使い捨て体液吸収パッドである。

【 0 0 0 8 】

前記前提における本発明の特徴は、前記パッドが、その着用時に、着用者の腹部の側に位置する前域および臀部の側に位置する後域と、着用者の股間部に位置する中間域とを有し、前記パッドを縦方向へ引っ張ることが可能な帯片が、前記前域の端縁部から縦方向外方へ延び、前記帯片が、前記両側縁部に位置して肌当接側に固着された内側固定部と、前記内側固定部の間に延びる把持部とを有することにある。

【 0 0 0 9 】

本発明は以下の実施態様を有する。

(1) 前記帯片が、前記両側縁部の一方に配置されて前記前域の端縁部から縦方向外方へ延びる第 1 帯片と、前記両側縁部の他方に配置されて前記前域の端縁部から縦方向外方へ延びる第 2 帯片とから形成され、前記第 1 帯片が、前記両側縁部の一方に位置して肌当接側に固着された内側固定部と、前記両側縁部の一方に位置して肌非当接側に固着された外側固定部と、前記内側固定部と前記外側固定部との間に延びる把持部とを有し、前記第 2 帯片が、前記両側縁部の他方に位置して肌当接側に固着された内側固定部と、前記両側縁部の他方に位置して肌非当接側に固着された外側固定部と、前記内側固定部と前記外側固定部との間に延びる把持部とを有する。

(2) 前記帯片の内側固定部が、前記両側縁部に沿って前記前域の端縁部から前記後域の端縁部に向かって延びている。

(3) 前記パッドの両側縁部に沿って縦方向へ延びる弾性部材が、前記パッドの前後域と中間域とのうちの少なくとも該中間域に収縮可能に取り付けられ、前記帯片の内側固定部が、前記弾性部材の収縮によって縦方向内方へ縮んでいる。

(4) 前記帯片が、弾性的な伸縮性を有し、前記帯片の内側固定部が、前記パッドの肌当接側に収縮可能に固着されている。

(5) 前記中間域における前記コアの表裏面シート間の厚み寸法が、前記前後域における前記コアのそれよりも小さい。

(6) 前記中間域における前記コアの両側縁間の横寸法が、前記後域における前記コアのそれよりも小さい。

(7) 前記パッドの後域には、縦方向へ延びる止着テープが配置され、前記止着

テープが、前記後域の肌非当接側に固着された固着部と、前記後域の端縁部から縦方向外方へ延びていて前記パッドの肌非当接側に着脱可能な自由部とを有する。

(8) 前記パッドでは、前記前域と前記後域とが互いに当接するように、前記表面シートを内側にして前記中間域が縦方向へ二つに折り畳まれ、前記止着テープの自由部が前記パッドの前域における肌非当接側に剥離可能に仮着されて該パッドの折り畳まれた状態が維持されている。

【 0 0 1 0 】

【発明の実施の形態】

添付の図面を参照し、本発明に係る使い捨て体液吸収パッドの詳細を説明すると、以下のとおりである。

【 0 0 1 1 】

図 1, 2 は、一例として示すパッド 1 A の部分破断斜視図と、図 1 の I I - I I 線矢視断面図とであり、図 3 は、図 1 の I I I - I I I 線矢視断面図とである。図 1 では、横方向を矢印 X、縦方向を矢印 Y で示し、厚み方向を矢印 Z で示す。なお、表裏面シート 2, 3 の内面とは、コア 4 に対向する面をいい、それらシート 2, 3 の外面とは、コア 4 に非対向の面をいう。

【 0 0 1 2 】

パッド 1 A は、肌当接側に位置する透液性表面シート 2 と、肌非当接側に位置する不透液性裏面シート 3 と、表裏面シート 2, 3 の間に介在する吸液性コア 4 とから構成されている。パッド 1 A は、縦方向へ長く、コア 4 の両端縁 4 a の外側に位置して横方向へ延びる両端縁部 5, 6 と、コア 4 の両側縁 4 b の外側に位置して縦方向へ延びる両側縁部 7, 8 とを有する。

【 0 0 1 3 】

パッド 1 A は、その着用時に、着用者 3 0 の腹部 3 1 の側に位置する前域 9 と、着用者 3 0 の臀部 3 3 の側に位置する後域 1 1 と、着用者 3 0 の股間部 3 2 に位置する中間域 1 0 とを有する（図 5 参照）。パッド 1 A は、中間域 1 0 における両側縁部 7, 8 間の横寸法が前後域 9, 1 1 における両側縁部 7, 8 間の横寸法よりも小さく、その平面形状が実質的に砂時計型を呈する。パッド 1 A には、

それを縦方向へ引っ張ることが可能な一对の帯片 1 2 a, 1 2 b と、着用前のパッド 1 A の折り畳まれた状態（図 4 参照）を維持するための止着テープ 1 3 とが取り付けられている。

【 0 0 1 4 】

中間域 1 0 の両側縁部 7, 8 には、縦方向へ延びる複数条の伸縮性弾性部材 1 4 が収縮可能に取り付けられている。弾性部材 1 4 は、表面シート 2 と裏面シート 3 との間に介在し、それらシート 2, 3 の内面に固着されている。図 1 では、弾性部材 1 4 が縦方向内方へ収縮し、パッド 1 A が表面シート 2 を内側にして縦方向へ湾曲している。

【 0 0 1 5 】

帯片 1 2 a, 1 2 b は、一方の側縁部 7 に配置されて前域 9 の端縁部 5 から縦方向外方へ延びる第 1 帯片 1 2 a と、他方の側縁部 8 に配置されて前域 9 の端縁部 5 から縦方向外方へ延びる第 2 帯片 1 2 b とから形成されている。それら帯片 1 2 a, 1 2 b には、非伸縮性の繊維不織布が使用されている。それら帯片 1 2 a, 1 2 b は、実質的に環を形成している。

【 0 0 1 6 】

第 1 帯片 1 2 a は、側縁部 7 に位置して表面シート 2 の外面（肌当接側）に固着された第 1 内側固定部 1 5 と、側縁部 7 に位置して裏面シート 3 の外面（肌非当接側）に固着された第 1 外側固定部 1 6 と、第 1 内側固定部 1 5 と第 1 外側固定部 1 6 との間に延びる第 1 把持部 1 7 とを有する。第 2 帯片 1 2 b は、側縁部 8 に位置して表面シート 2 の外面（肌当接側）に固着された第 2 内側固定部 1 8 と、側縁部 7 に位置して裏面シート 3 の外面（肌非当接側）に固着された第 2 外側固定部 1 9 と、第 2 内側固定部 1 8 と第 2 外側固定部 1 9 との間に延びる第 2 把持部 2 0 とを有する。

【 0 0 1 7 】

第 1 および第 2 内側固定部 1 5, 1 8 は、パッド 1 A の両側縁部 7, 8 に沿って、前域 9 から中間域 1 0 に向かって延びている。それら内側固定部 1 5, 1 8 を表面シート 2 に固着するときは、弾性部材 1 4 を縦方向外方へ伸長させた状態にある。中間域 1 0 では、それら帯片 1 2 a, 1 2 b の内側固定部 1 5, 1 8 が

弾性部材 1 4 の収縮によって縦方向内方へ縮んでいる。第 1 および第 2 外側固定部 1 6, 1 9 は、前域 9 に位置している。それら内側固定部 1 5, 1 8 とそれら外側固定部 1 6, 1 9 とは、ホットメルト型接着剤（図示せず）を介して表裏面シート 2, 3 に固着されている。表裏面シート 2, 3 に対するそれら固定部 1 5, 1 6, 1 8, 1 9 の固着には、接着剤の他に、熱融着手段を利用することもできる。

【 0 0 1 8 】

コア 4 は、パッド 1 A の前後域 9, 1 1 間に延び、表裏面シート 2, 3 の内面に接合されている。コア 4 は、中間域 1 0 における表裏面シート 2, 3 間の厚み寸法 L 1 が前後域 9, 1 1 における表裏面シート 2, 3 間の厚み寸法 L 2, L 3 よりも小さく、パッド 1 A の前後域 9, 1 1 と中間域 1 0 とにおいてコア 4 に段差 2 1 が形成されている（図 2 参照）。コア 4 は、パッド 1 A の中間域 1 0 における両側縁 4 b 間の横寸法 L 4 が前後域 9, 1 1 における両側縁 4 b 間の横寸法 L 5 よりも小さく（図 3 参照）、その平面形状が実質的に砂時計型を呈する。

【 0 0 1 9 】

両端縁部 5, 6 では、コア 4 の両端縁 4 a から縦方向外方へ延びる表裏面シート 2, 3 の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2, 3 の内面どうしが固着されている。両側縁部 7, 8 では、コア 4 の両側縁 4 b から横方向外方へ延びる表裏面シート 2, 3 の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2, 3 の内面どうしが固着されている。

【 0 0 2 0 】

止着テープ 1 3 は、パッド 1 A の後域 1 1 に配置されて縦方向へ延びている。止着テープ 1 3 は、裏面シート 3 の外面（肌非当接側）に固着された固着部 1 3 a と、後域 1 1 の端縁部 6 から縦方向外方へ延びる自由部 1 3 b とを有する。自由部 1 3 b には、粘着剤（図示せず）が塗布されている。止着テープ 1 3 は、可撓性を有するプラスチックフィルムが使用されている。

【 0 0 2 1 】

表裏面シート 2, 3 どちらの固着、表裏面シート 2, 3 に対する弾性部材 1 4 の固着、表裏面シート 2, 3 に対するコア 4 の接合には、それらシート 2, 3 の

内面に断続的に塗布されたホットメルト型接着剤（図示せず）が使用されている。接着剤は、それらシート 2，3 の内面にスパイラル状やジグザグ状、ドット状、縞状のうちのいずれかの態様で塗布されている。なお、接着剤は、表裏面シート 2，3 のいずれか一方の内面に塗布されていてもよい。

【 0 0 2 2 】

図 4，5 は、折り畳んだ状態にある着用前のパッド 1 A の斜視図と、着用状態にあるパッド 1 A の斜視図とであり、図 6 は、廃棄するために折り畳まれた着用後のパッド 1 A の斜視図である。図 5 では、仰向けに寝た着用者 3 0 を二点鎖線で示す。

【 0 0 2 3 】

着用前のパッド 1 A は、図 4 に示すように、前域 9 と後域 1 1 とが互いに当接するように、表面シート 2 を内側にして中間域 1 0 が縦方向へ二つに折り畳まれている。前域 9 における裏面シート 3 の外面（肌非当接側）には、止着テープ 1 3 の自由部 1 3 b が粘着剤を介して剥離可能に仮着されている。パッド 1 A は、止着テープ 1 3 によってその折り畳まれた状態が維持されている。

【 0 0 2 4 】

パッド 1 A を使用するには、止着テープ 1 3 の自由部 1 3 b を裏面シート 3 の外面から剥がし、前後域 9，1 1 が互いに離間するように、前後域 9，1 1 を縦方向へ展開する。パッド 1 A を着用させる一例としては、介護者が仰向けに寝ている着用者 3 0 の臀部 3 3 を持ち上げ、臀部 3 3 の下にパッド 1 A の後域 1 1 を位置させた後、着用者 3 0 の臀部 3 3 を後域 1 1 の上に降ろす。次に、パッド 1 A の前域 9 を着用者 3 0 の腹部 3 1 の側に旋回させる。パッド 1 A は、図 5 に示すように、中間域 1 0 で折れ曲がり、前域 9 が着用者 3 0 の腹部 3 1 に当接し、後域 1 1 が着用者 3 0 の臀部 3 3 に当接するとともに、中間域 1 0 が着用者 3 0 の股間部 3 2 に当接する。

【 0 0 2 5 】

パッド 1 A は、それを着用した着用者 3 0 が第 1 および第 2 帯片 1 2 a，1 2 b の把持部 1 7，2 0 を両手 3 4 で持ち、それら帯片 1 2 a，1 2 b を矢印 Y 1 で示す縦方向外方へ引っ張ることで、パッド 1 A の前後域 9，1 1 と中間域 1 0

とを肌に密着させることができ、排泄時にパッド 1 A に体液を確実に吸収させることができる。

【 0 0 2 6 】

パッド 1 A は、それら帯片 1 2 a, 1 2 b を縦方向外方へ引っ張ることで、弾性部材 1 4 が縦方向へ伸長するとともに、パッド 1 A の中間域 1 0 における両側縁部 7, 8 が着用者 3 0 の肌に密着するので、パッド 1 A の両側縁部 7, 8 から体液の漏れを防ぐことができる。パッド 1 A は、第 1 帯片 1 2 a または第 2 帯片 1 2 b の引っ張る力を加減することによって、パッド 1 A の両側縁部 7, 8 の肌に対する密着の程度を調節することができる。

【 0 0 2 7 】

パッド 1 A は、従来技術のそれと異なり、パンツを介してパッド 1 A を肌に密着させる必要はない。パッド 1 A は、その着用時に、それをパンツにのせてパンツとともに着用する必要はなく、パッド 1 A の後域 1 1 を着用者 3 0 の臀部 3 3 の下に敷くだけなので、パッド 1 A を簡単に着用させることができ、特に寝たきりの着用者 3 0 の体液処理用として好適である。

【 0 0 2 8 】

パッド 1 A は、その前後域 9, 1 1 と中間域 1 0 とにおいてコア 4 に段差 2 1 が形成されているので、帯片 1 2 a, 1 2 b を縦方向外方へ強く引っ張ったとしても、後域 1 1 におけるコア 4 が着用者 3 0 の股間部 3 2 に引っ掛かり、パッド 1 A が着用位置から外れてしまうことはない。パッド 1 A は、その中間域 1 0 におけるコア 4 の横寸法 L 4 が前後域 9, 1 1 におけるコア 4 のそれよりも小さいので、帯片 1 2 a, 1 2 b を縦方向外方へ強く引っ張ったとしても、後域 1 1 におけるコア 4 が着用者 3 0 の股間部 3 2 に引っ掛かり、パッド 1 A が着用位置から外れてしまうことはない。

【 0 0 2 9 】

体液で汚れたパッド 1 A を廃棄するには、図 6 に示すように、パッド 1 A を着用位置から取り外し、表面シート 2 を内側にした状態でパッド 1 A を後域 1 1 から前域 9 に向かって縦方向へ折り畳んだ後、それら帯片 1 2 a, 1 2 b の把持部 1 7, 2 0 を折り畳まれたパッド 1 A の外周面にかける。パッド 1 A は、帯片 1

2 a, 1 2 b の把持部 1 7, 2 0 を介してその折り畳まれた状態が維持されるので、パッド 1 A を折り畳んだ状態のまま廃棄することができる。

【 0 0 3 0 】

図 7, 8 は、他の一例として示すパッド 1 B の部分破断斜視図と、図 7 の V I I I - V I I I 線矢視断面図とであり、図 9 は、図 7 の I X - I X 線矢視断面図とである。図 7 では、横方向を矢印 X、縦方向を矢印 Y で示し、厚み方向を矢印 Z で示す。

【 0 0 3 1 】

パッド 1 B は、透液性表面シート 2 と不透液性裏面シート 3 との間に吸液性コア 4 が介在し、両端縁部 5, 6 および両側縁部 7, 8 と、着用者 3 0 の腹部 3 1 の側に位置する前域 9 および臀部 3 3 の側に位置する後域 1 1 と、着用者 3 0 の股間部 3 2 に位置する中間域 1 0 とを有する。パッド 1 B は、中間域 1 0 における両側縁部 7, 8 間の横寸法が前後域 9, 1 1 における両側縁部 7, 8 間の横寸法よりも小さい。パッド 1 B には、それを縦方向へ引っ張ることが可能な第 1 および第 2 帯片 1 2 a, 1 2 b と、着用前のパッド 1 B の折り畳まれた状態を維持するための止着テープ 1 3 とが取り付けられている。

【 0 0 3 2 】

第 1 および第 2 帯片 1 2 a, 1 2 b は、両側縁部 7, 8 に配置されて前域 9 の端縁部 5 から縦方向外方へ延びている。第 1 帯片 1 2 a は、側縁部 7 に位置して表面シート 2 の外面に固着された第 1 内側固定部 1 5 と、側縁部 7 に位置して裏面シート 3 の外面に固着された第 1 外側固定部 1 6 と、それら固定部 1 5, 1 6 の間に延びる第 1 把持部 1 7 とを有する。第 2 帯片 1 2 b は、側縁部 8 に位置して表面シート 2 の外面に固着された第 2 内側固定部 1 8 と、側縁部 8 に位置して裏面シート 3 の外面に固着された第 2 外側固定部 1 9 と、それら固定部 1 8, 1 9 の間に延びる第 2 把持部 2 0 とを有する。それら帯片 1 2 a, 1 2 b には、弾性的な伸縮性を有する繊維不織布が使用されている。それら帯片 1 2 a, 1 2 b は、実質的に環を形成している。

【 0 0 3 3 】

第 1 および第 2 内側固定部 1 5, 1 8 は、パッド 1 B の両側縁部 7, 8 に沿っ

て、前域 9 の端縁部 5 から後域 1 1 の端縁部 6 に向かって延びている。第 1 および第 2 外側固定部 1 6, 1 9 は、前域 9 に位置している。それら内側固定部 1 5, 1 8 は、表面シート 2 の外面に伸長状態で取り付けられ、縦方向へ伸縮可能である。それら外側固定部 1 6, 1 9 は、裏面シート 3 の外面に非伸長状態で取り付けられている。図 7 では、帯片 1 2 a, 1 2 b の内側固定部 1 5, 1 8 が縦方向内方へ収縮し、パッド 1 B が表面シート 2 を内側にして縦方向へ湾曲している。

【 0 0 3 4 】

コア 4 は、パッド 1 B の前後域 9, 1 1 間に延び、表裏面シート 2, 3 の内面に接合されている。コア 4 の表裏面シート 2, 3 間の厚み寸法は、パッド 1 B の前後域 9, 1 1 と中間域 1 0 とで略同一である。コア 4 は、パッド 1 B の中間域 1 0 における両側縁 4 b 間の横寸法 L 4 が前後域 9, 1 1 における両側縁 4 b 間の横寸法 L 5 よりも小さい。両端縁部 5, 6 では、表裏面シート 2, 3 の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2, 3 の内面どうしが固着されている。両側縁部 7, 8 では、表裏面シート 2, 3 の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2, 3 の内面どうしが固着されている。止着テープ 1 3 は、パッド 1 B の後域 1 1 における裏面シート 3 の外面に取り付けられている。

【 0 0 3 5 】

使用前のパッド 1 B の折り畳まれた状態とパッド 1 B の着用状態とは、図 4, 5 のそれらと同一であり、パッド 1 B を廃棄するために折り畳んだ状態は、図 6 のそれと同一であるので、それらの説明は省略する。

【 0 0 3 6 】

パッド 1 B は、それを着用した着用者 3 0 が第 1 および第 2 帯片 1 2 a, 1 2 b の把持部 1 7, 2 0 を両手 3 4 で持ち、それら帯片 1 2 a, 1 2 b を縦方向外方へ引っ張ることで、パッド 1 B の前後域 9, 1 1 と中間域 1 0 とを肌に密着させることができ、排泄時にパッド 1 B に体液を確実に吸収させることができる。パッド 1 B は、それを縦方向外方へ引っ張ると、帯片 1 2 a, 1 2 b の内側固定部 1 5, 1 8 が縦方向へ伸長するとともに、内側固定部 1 5, 1 8 が着用者 3 0 の肌に密着するので、パッド 1 B の両側縁部 7, 8 からの体液の漏れを防ぐこと

ができる。

【 0 0 3 7 】

パッド 1 B は、帯片 1 2 a, 1 2 b の内側固定部 1 5, 1 8 が前後域 9, 1 1 間に延びているので、それら帯片 1 2 a, 1 2 b を引っ張ることによって、パッド 1 B の前域 9 のみならず、中間域 1 0 と後域 1 1 とが縦方向外方へ引っ張られ、前後域 9, 1 1 と中間域 1 0 とを着用者 3 0 の肌に確実に密着させることができる。パッド 1 B は、第 1 帯片 1 2 a または第 2 帯片 1 2 b の引っ張る力を加減することによって、それら帯片 1 2 a, 1 2 b の内側固定部 1 5, 1 8 とともにパッド 1 B の両側縁部 7, 8 の肌に対する密着の程度を調節することができる。

【 0 0 3 8 】

パッド 1 B は、その着用時に、それをパンツにのせてパンツとともに着用する必要はなく、パッド 1 B の後域 1 1 を着用者 3 0 の臀部 3 3 の下に敷くだけなので、パッド 1 B を簡単に着用させることができる。

【 0 0 3 9 】

図 1 0, 1 1 は、他の一例として示すパッド 1 C の部分破断斜視図と、図 1 0 の X I - X I 線矢視断面図とであり、図 1 2 は、図 1 0 の X I I - X I I 線矢視断面図とである。図 1 0 では、横方向を矢印 X、縦方向を矢印 Y で示し、厚み方向を矢印 Z で示す。

【 0 0 4 0 】

パッド 1 C は、透液性表面シート 2 と不透液性裏面シート 3 との間に吸液性コア 4 が介在し、両端縁部 5, 6 および両側縁部 7, 8 と、着用者 3 0 の腹部 3 1 の側に位置する前域 9 および臀部 3 3 の側に位置する後域 1 1 と、着用者 3 0 の股間部 3 2 に位置する中間域 1 0 とを有する。パッド 1 C は、中間域 1 0 における両側縁部 7, 8 間の横寸法と前後域 9, 1 1 における両側縁部 7, 8 間の横寸法とが略同一であり、縦方向へ長い矩形を呈する。パッド 1 C には、それを縦方向へ引っ張ることが可能な帯片 1 2 と、着用前のパッド 1 C の折り畳まれた状態を維持するための止着テープ 1 3 とが取り付けられている。

【 0 0 4 1 】

帯片 1 2 は、前域 9 の両側縁部 7, 8 に位置して表面シート 2 の外面に固着さ

れた内側固定部 2 2 と、内側固定部 2 2 の間に延びる把持部 2 3 とを有する。内側固定部 2 2 は、コア 4 の両側縁 4 b に重なっている。帯片 1 2 は、非伸縮性の繊維不織布が使用されている。帯片 1 2 は、実質的に環を形成している。

【 0 0 4 2 】

コア 4 は、パッド 1 C の前後域 9, 1 1 間に延び、表裏面シート 2, 3 の内面に接合されている。コア 4 の表裏面シート 2, 3 間の厚み寸法は、パッド 1 C の前後域 9, 1 1 と中間域 1 0 とで略同一である。コア 4 の両側縁 4 b 間の横寸法は、パッド 1 C の前後域 9, 1 1 と中間域 1 0 とで略同一である。両端縁部 5, 6 では、表裏面シート 2, 3 の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2, 3 の内面どうしが固着されている。両側縁部 7, 8 では、表裏面シート 2, 3 の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2, 3 の内面どうしが固着されている。止着テープ 1 3 は、パッド 1 C の後域 1 1 における裏面シート 3 の外面に取り付けられている。

【 0 0 4 3 】

図 1 3, 1 4 は、折り畳んだ状態にある着用前のパッド 1 C の斜視図と、着用状態にあるパッド 1 C の斜視図とであり、図 1 5 は、廃棄するために折り畳まれた着用後のパッド 1 C の斜視図である。図 1 4 では、仰向けに寝た着用者 3 0 を二点鎖線で示す。

【 0 0 4 4 】

着用前のパッド 1 C は、図 1 3 に示すように、前域 9 と後域 1 1 とが互いに当接するように、表面シート 2 を内側にして中間域 1 0 が縦方向へ二つに折り畳まれている。前域 9 における裏面シート 3 の外面には、止着テープ 1 3 の自由部 1 3 b が粘着剤（図示せず）を介して剥離可能に仮着されている。

【 0 0 4 5 】

パッド 1 C を着用させる手順は、図 5 のそれと同一である。着用状態にあるパッド 1 C は、図 1 4 に示すように、中間域 1 0 で折れ曲がり、前域 9 が着用者 3 0 の腹部 3 1 に当接し、後域 1 1 が着用者 3 0 の臀部 3 3 に当接するとともに、中間域 1 0 が着用者 3 0 の股間部 3 2 に当接する。

【 0 0 4 6 】

パッド 1 C は、着用者 3 0 が帯片 1 2 の把持部 2 3 を片手 3 4 で持ち、帯片 1 2 を矢印 Y 1 で示す縦方向外方へ引っ張ることで、パッド 1 C の前後域 9、1 1 と中間域 1 0 とを肌に密着させることができ、排泄時にパッド 1 C に体液を確実に吸収させることができる。パッド 1 C は、その着用時に、それをパンツにのせてパンツとともに着用する必要はなく、パッド 1 C の後域を着用者 3 0 の臀部 3 3 の下に敷くだけなので、パッド 1 C を簡単に着用させることができる。

【 0 0 4 7 】

体液で汚れたパッド 1 C を廃棄するには、図 1 5 に示すように、表面シート 2 を内側にした状態でパッド 1 C を後域 1 1 から前域 9 に向かって縦方向へ折り畳んだ後、帯片 1 2 の把持部 2 3 を折り畳まれたパッド 1 C の外周面にかける。パッド 1 C は、帯片 1 2 を介してその折り畳まれた状態が維持されるので、パッド 1 C を折り畳んだ状態のまま廃棄することができる。

【 0 0 4 8 】

表面シート 2 には、親水性繊維不織布、多数の開孔を有する疎水性繊維不織布、微細な多数の開孔を有するプラスチックフィルムのいずれかを使用することができる。裏面シート 3 には、疎水性繊維不織布、通気不透液性プラスチックフィルム、疎水性繊維不織布どうしをラミネートした複合不織布、疎水性繊維不織布と通気不透液性プラスチックフィルムとをラミネートした複合シートのいずれかを使用することができる。帯片 1 2、1 2 a、1 2 b には、非伸縮性プラスチックシートや伸縮性プラスチックシートを使用することもできる。

【 0 0 4 9 】

不織布には、спанレース、ニードルパンチ、メルトブローン、サーマルボンド、спанボンド、ケミカルボンド、エアースルー、の各製法により製造されたものを使用することができる。不織布の構成繊維には、ポリオレフィン系、ポリエステル系、ポリアミド系、の各繊維、ポリエチレン／ポリプロピレンやポリエチレン／ポリエステルからなる芯鞘型複合繊維または並列型複合繊維を使用することができる。

【 0 0 5 0 】

伸縮性繊維不織布には、メルトブローンやспанボンドの各製法により製造さ

れたものを使用することができる。伸縮性不織布の構成繊維には、熱可塑性エラストマー樹脂を溶融、紡糸した伸縮性繊維を使用することができる。伸縮性繊維不織布には、熱可塑性エラストマー樹脂繊維からなる伸縮性かつ疎水性繊維不織布の少なくとも片面に、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、のいずれかの熱可塑性合成樹脂を溶融、紡糸した捲縮繊維からなる疎水性繊維不織布を重ね合わせた複合不織布を使用することもできる。

【 0 0 5 1 】

コア 4 は、フラッフパルプと高吸収性ポリマー粒子との混合物、または、フラッフパルプと高吸収性ポリマー粒子と熱可塑性合成樹脂繊維との混合物であり、所定の厚みに圧縮されている。コア 4 は、その型崩れやポリマー粒子の脱落を防止するため、全体がティッシュペーパーや親水性繊維不織布等の透液性シートに被覆されていることが好ましい。ポリマー粒子としては、デンプン系、セルロース系、合成ポリマー系のものを使用することができる。

【 0 0 5 2 】

それら図示のパッド 1 A, 1 B では、着用後のそれらパッド 1 A, 1 B を廃棄するときに、パッド 1 A, 1 B を前域 9 から後域 1 1 に向かって縦方向へ丸め、丸められたパッド 1 A, 1 B の裏面シート 3 の外面に止着テープ 1 3 の自由部 1 3 b を止着してもよい。パッド 1 A, 1 B は、その丸められた状態が止着テープ 1 3 によって維持されるので、パッド 1 A, 1 B を丸めた状態のまま廃棄することができる。

【 0 0 5 3 】

【発明の効果】

本発明にかかる使い捨て体液吸収パッドによれば、帯片を縦方向外方へ引っ張ることで、パッドの前後域と中間域とを着用者の肌に密着させることができ、排泄時にパッドに体液を確実に吸収させることができる。このパッドは、その着用時に、それをパンツにのせてパンツとともに着用する必要はなく、パッドの後域を着用者の臀部の下に敷くだけなので、パッドを簡単に着用させることができ、特に寝たきりの着用者の体液処理用として好適である。

【 0 0 5 4 】

帯片が第 1 帯片と第 2 帯片とから形成されたパッドでは、それら帯片を縦方向外方へ引っ張ることで、パッドの前後域と中間域とを着用者の肌に密着させることができることはもちろん、第 1 帯片または第 2 帯片の引っ張る力を加減することによって、パッドの両側縁部の肌に対する密着の度を調節することができる。

【 0 0 5 5 】

帯片の内側固定部が両側縁部に沿って前域の端縁部から後域の端縁部に向かって延びているパッドでは、帯片によってパッドの前域のみならず、中間域と後域とが縦方向外方へ引っ張られ、前後域と中間域とを着用者の肌に確実に密着させることができる。

【 0 0 5 6 】

縦方向へ延びる弾性部材が両側縁部に収縮可能に取り付けられたパッドは、帯片を縦方向外方へ引っ張ることで、弾性部材が縦方向へ伸長するとともに、パッドの両側縁部が着用者の肌に密着するので、パッドの両側縁部からの体液の漏れを防ぐことができる。

【 0 0 5 7 】

帯片が弾性的な伸縮性を有するパッドは、帯片を縦方向外方へ引っ張ることで、帯片の内側固定部が縦方向へ伸長するとともに、内側固定部が着用者の肌に密着するので、パッドの両側縁部からの体液の漏れを防ぐことができる。

【 0 0 5 8 】

中間域におけるコアの表裏面シート間の厚み寸法が前後域におけるコアのそれよりも小さいパッドでは、前後域と中間域とにおいてコアに段差が形成されるので、帯片を縦方向外方へ強く引っ張ったとしても、後域におけるコアが着用者の股間部に引っ掛かり、パッドが着用位置から外れてしまうことはない。

【 0 0 5 9 】

中間域におけるコアの両側縁間の横寸法が後域におけるコアの両側縁間のそれよりも小さいパッドでは、帯片を縦方向外方へ強く引っ張ったとしても、後域におけるコアが着用者の股間部に引っ掛かり、パッドが着用位置から外れてしまうことはない。

【 0 0 6 0 】

縦方向へ延びる止着テープが後域に取り付けられたパッドでは、前域における裏面シートの外面に止着テープの自由部を仮着することによって、着用前のパッドの折り畳まれた状態を維持することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

一例として示すパッドの部分破断斜視図。

【図 2】

図 1 の I I - I I 線矢視断面図。

【図 3】

図 1 の I I I - I I I 線矢視断面図。

【図 4】

折り畳んだ状態にある着用前のパッドの斜視図。

【図 5】

着用状態にあるパッドの斜視図。

【図 6】

廃棄するために折り畳まれた着用後のパッドの斜視図。

【図 7】

他の一例として示すパッドの部分破断斜視図。

【図 8】

図 7 の V I I I - V I I I 線矢視断面図。

【図 9】

図 7 の I X - I X 線矢視断面図。

【図 1 0】

他の一例として示すパッドの部分破断斜視図。

【図 1 1】

図 1 0 の X I - X I 線矢視断面図。

【図 1 2】

図 1 0 の X I I - X I I 線矢視断面図。

【図 1 3】

折り畳んだ状態にある着用前のパッドの斜視図。

【図 1 4】

着用状態にあるパッドの斜視図。

【図 1 5】

廃棄するために折り畳まれた着用後のパッドの斜視図。

【符号の説明】

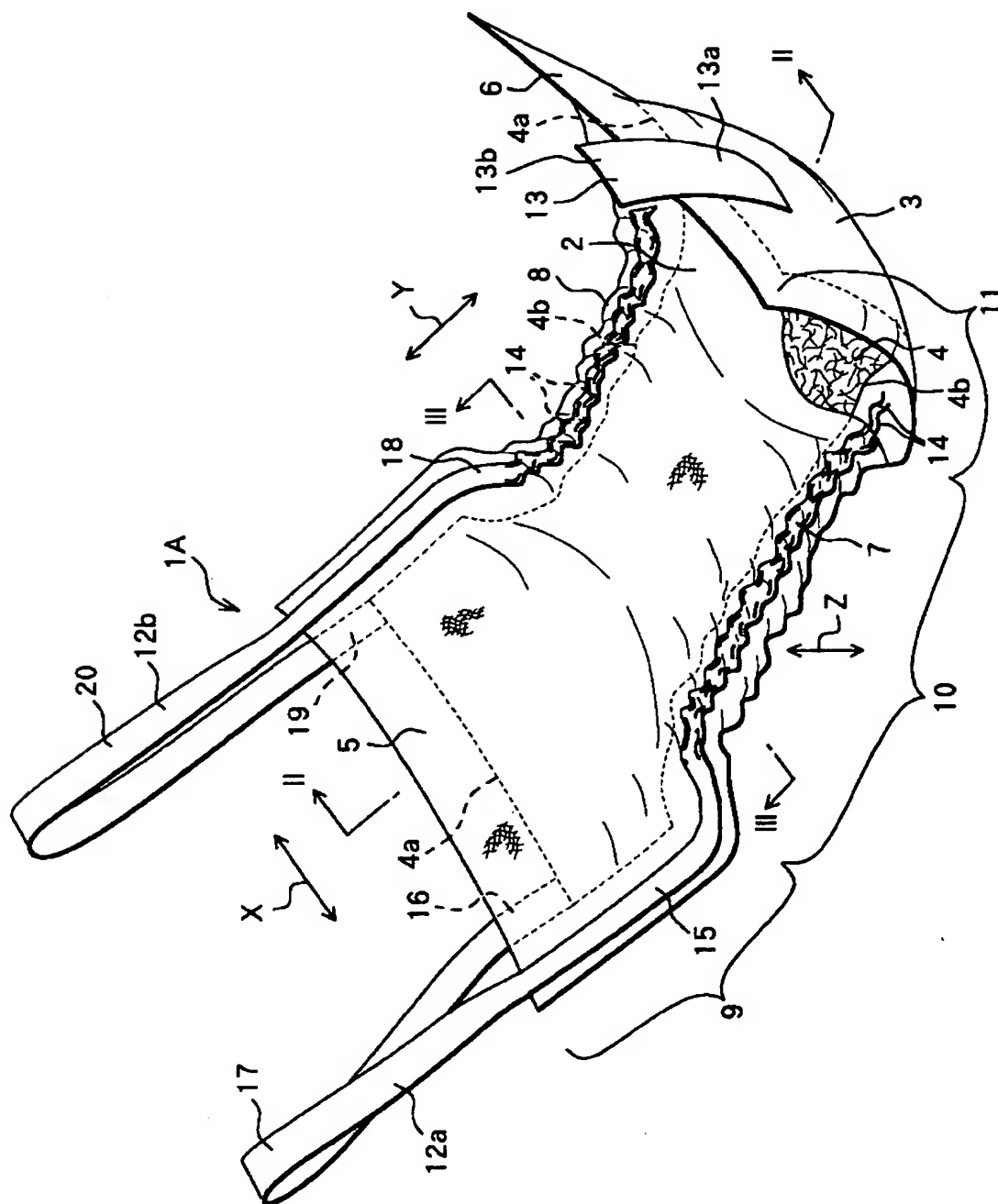
1 A	使い捨て体液吸収パッド
1 B	使い捨て体液吸収パッド
1 C	使い捨て体液吸収パッド
2	透液性表面シート
3	不透液性裏面シート
4	吸液性コア
5	端縁部
6	端縁部
7	側縁部
8	側縁部
9	前域
1 0	中間域
1 1	後域
1 2	帯片
1 2 a	第 1 帯片
1 2 b	第 2 帯片
1 3	止着テープ
1 3 a	固着部
1 3 b	自由部
1 4	伸縮性弾性部材
1 5	第 1 内側固定部
1 6	第 1 外側固定部

1 7	第 1 把持部
1 8	第 2 内側固定部
1 9	第 2 外側固定部
2 0	第 2 把持部
2 2	内側固定部
2 3	把持部
L 1	厚み寸法
L 2	厚み寸法
L 3	厚み寸法
L 4	横寸法
L 5	横寸法

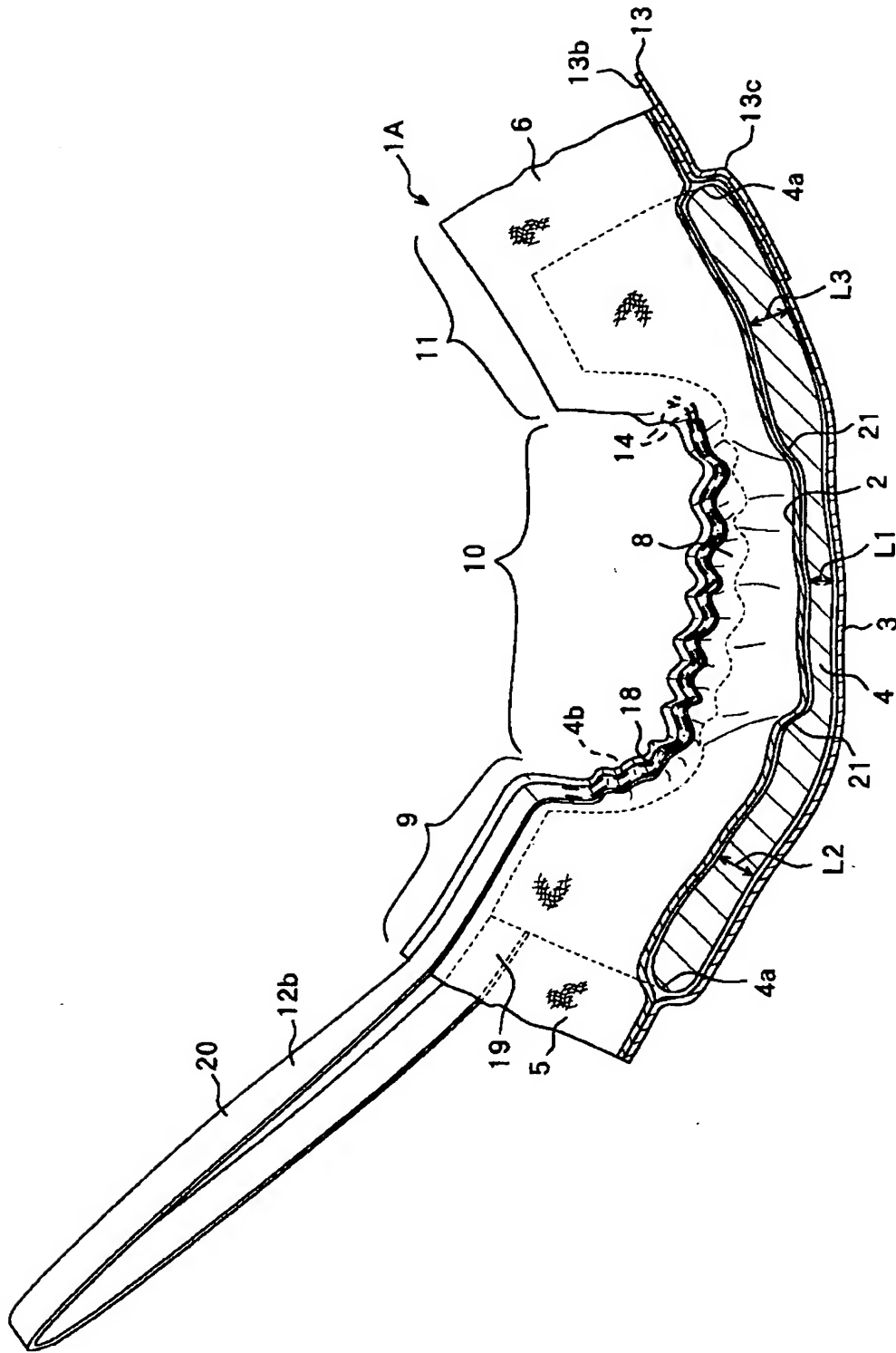
【書類名】

図面

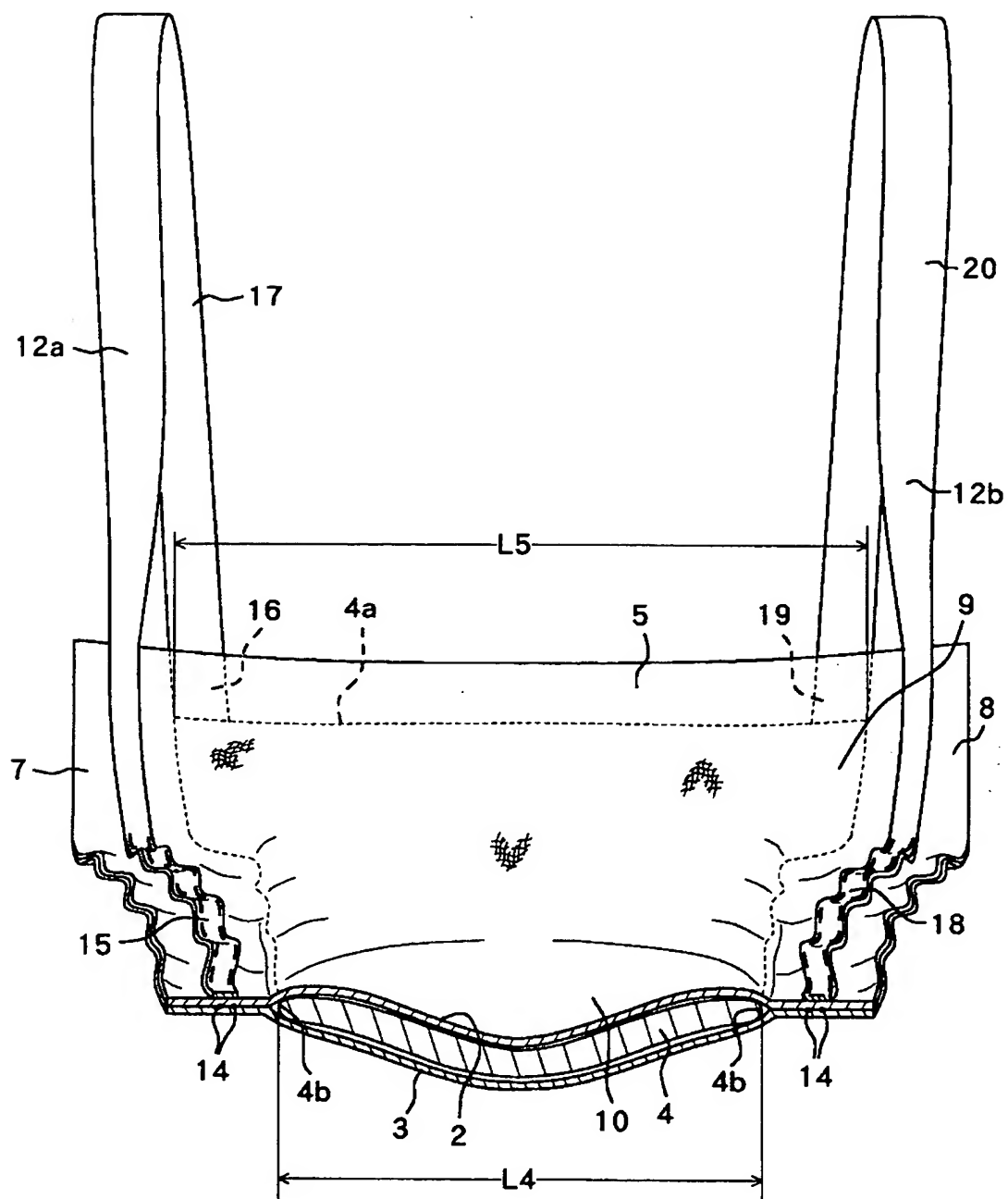
【図 1】



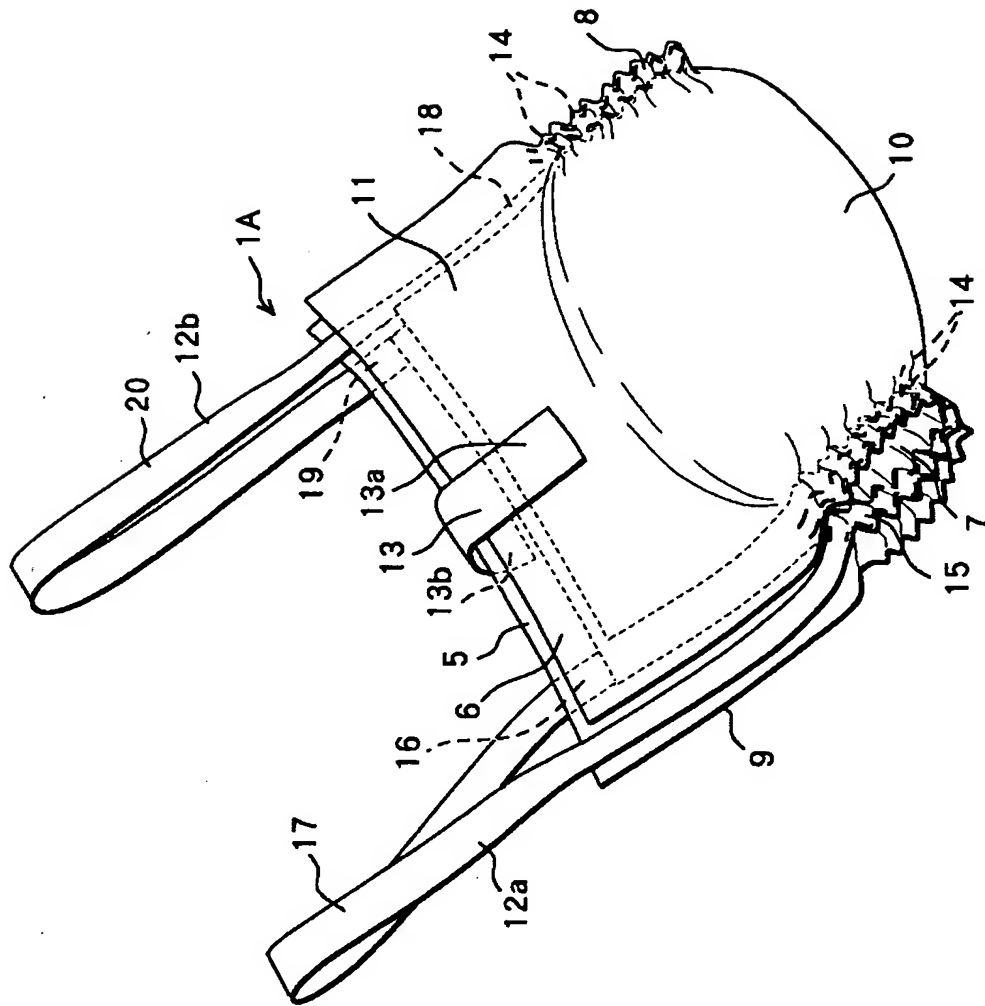
【図 2】



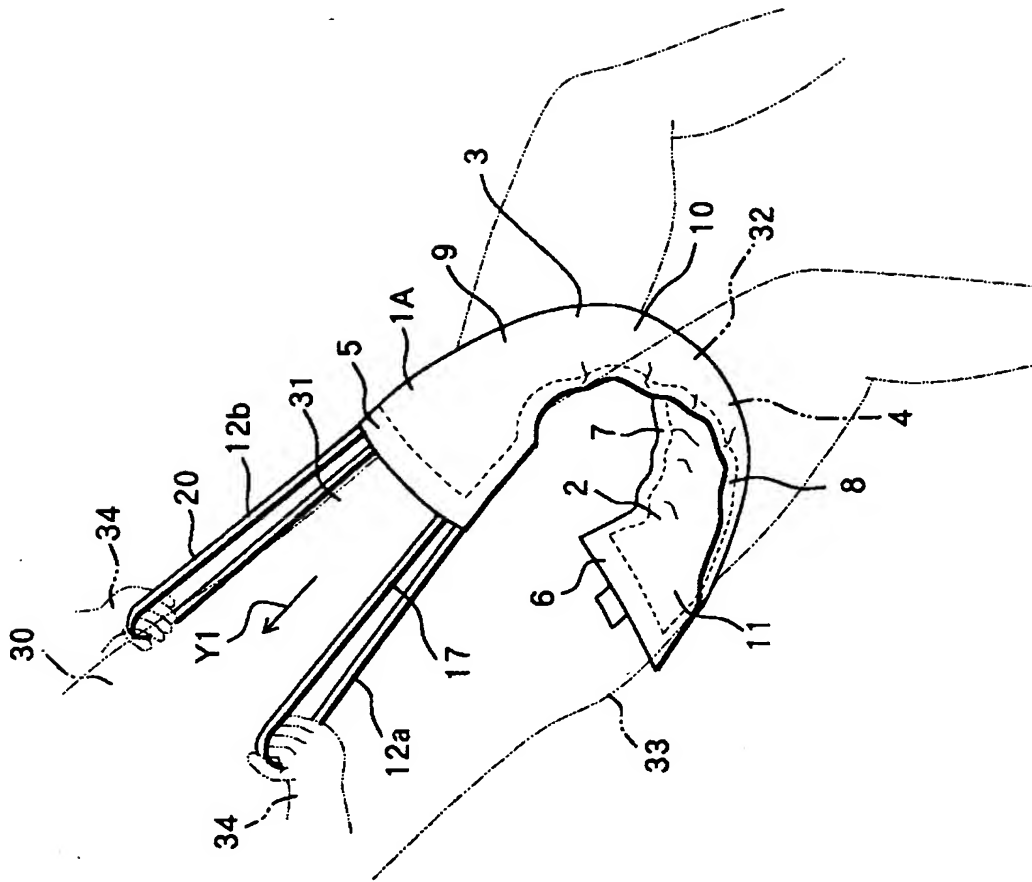
【図 3】



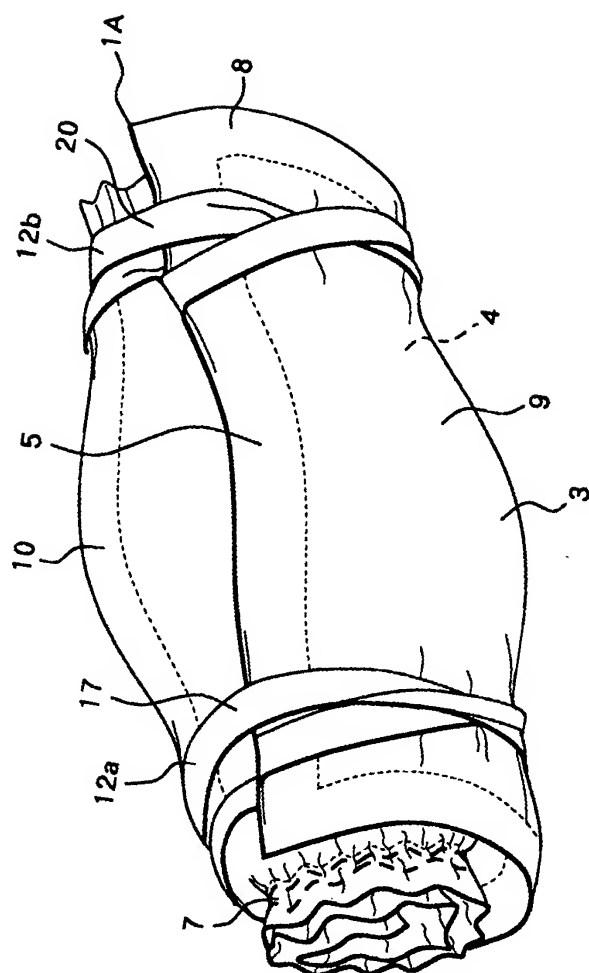
【図 4】



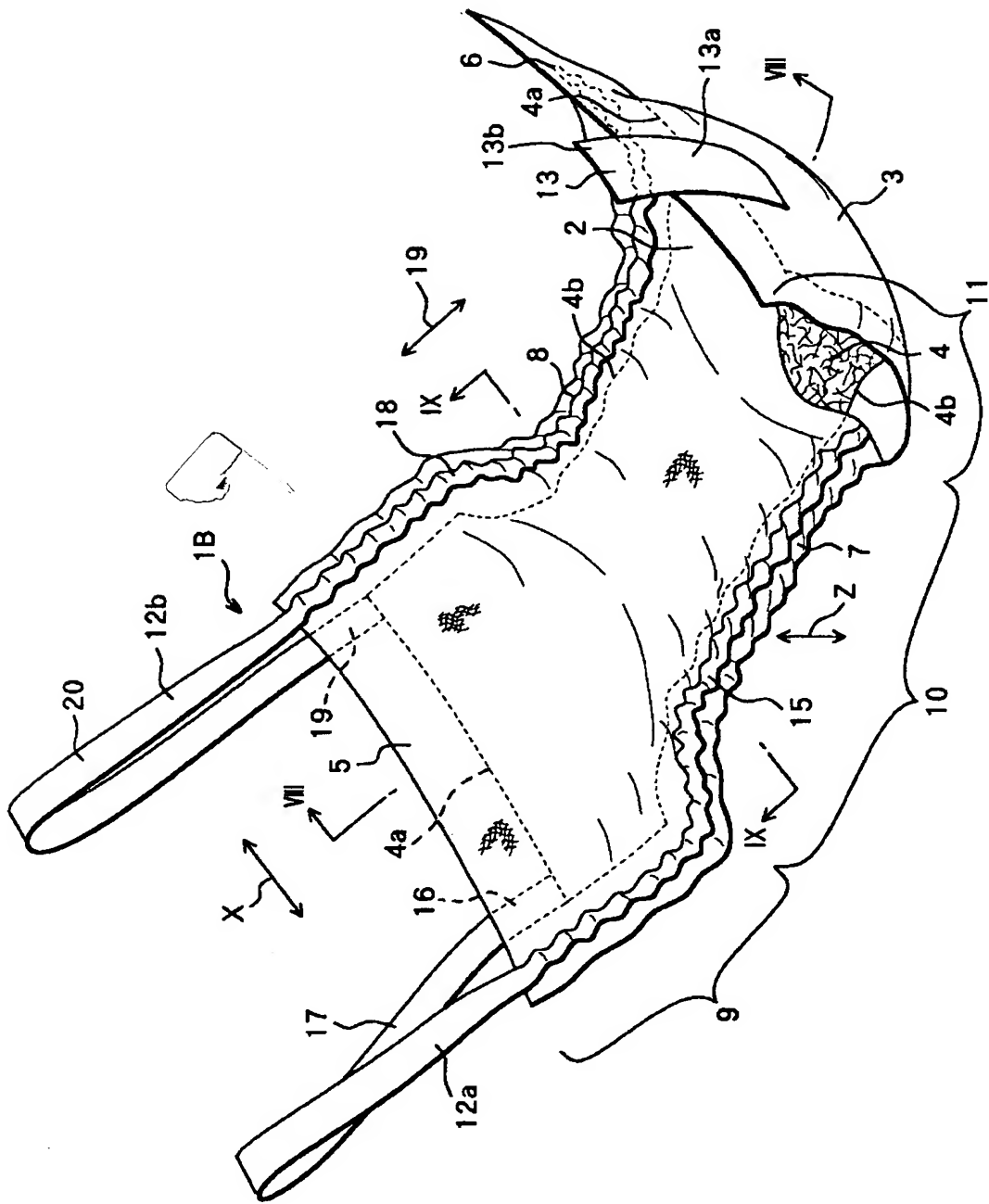
【図 5】



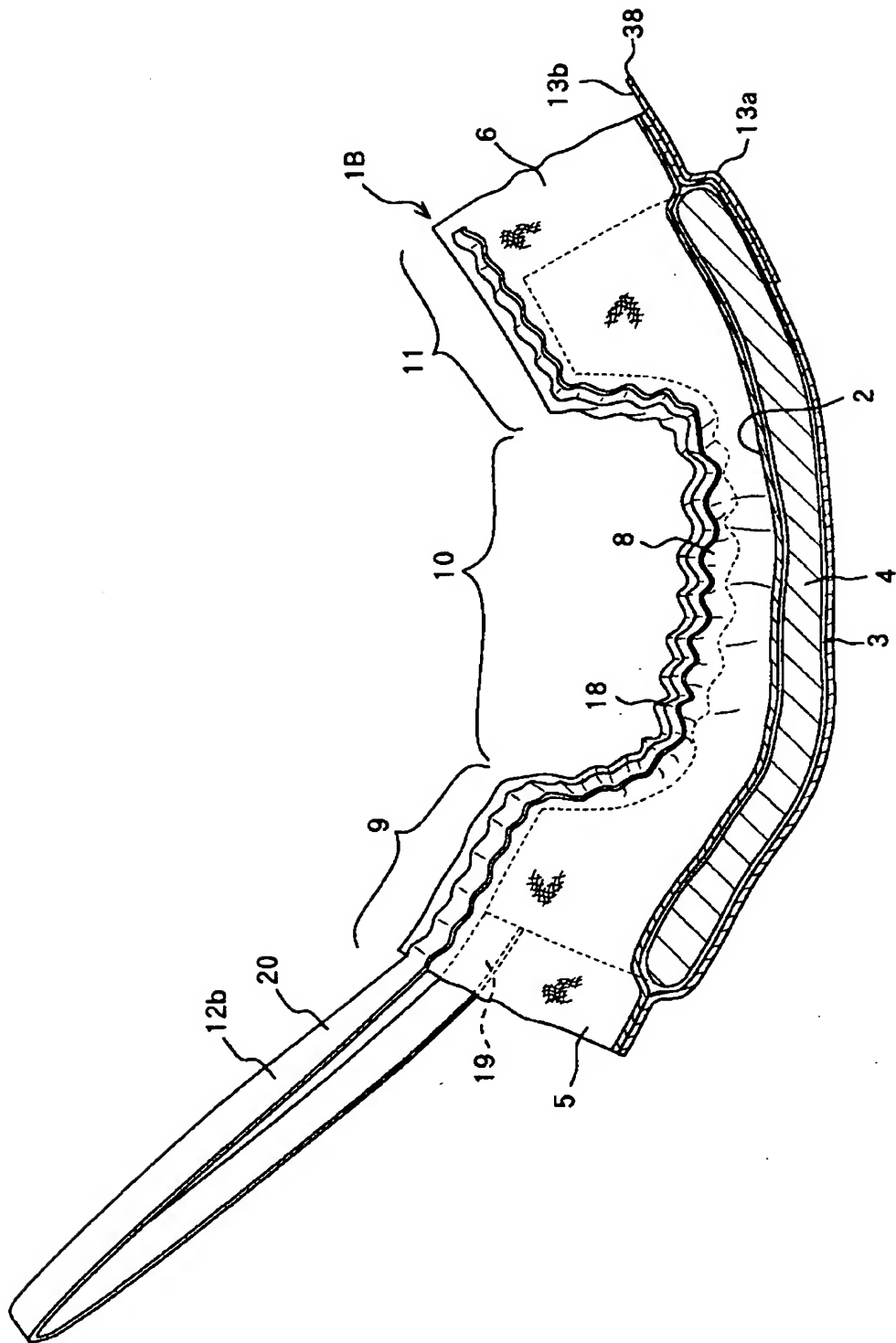
【図6】



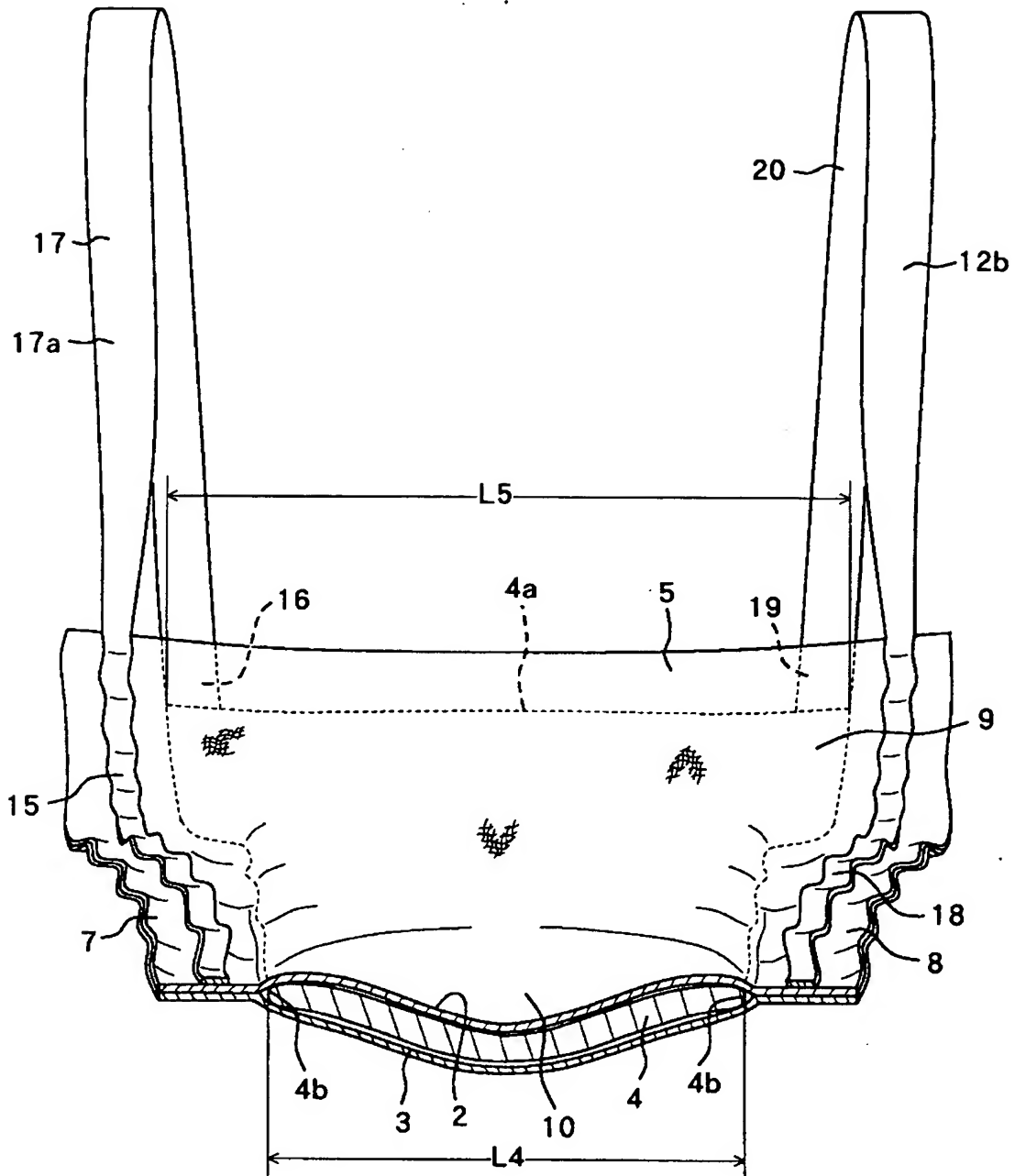
【図7】



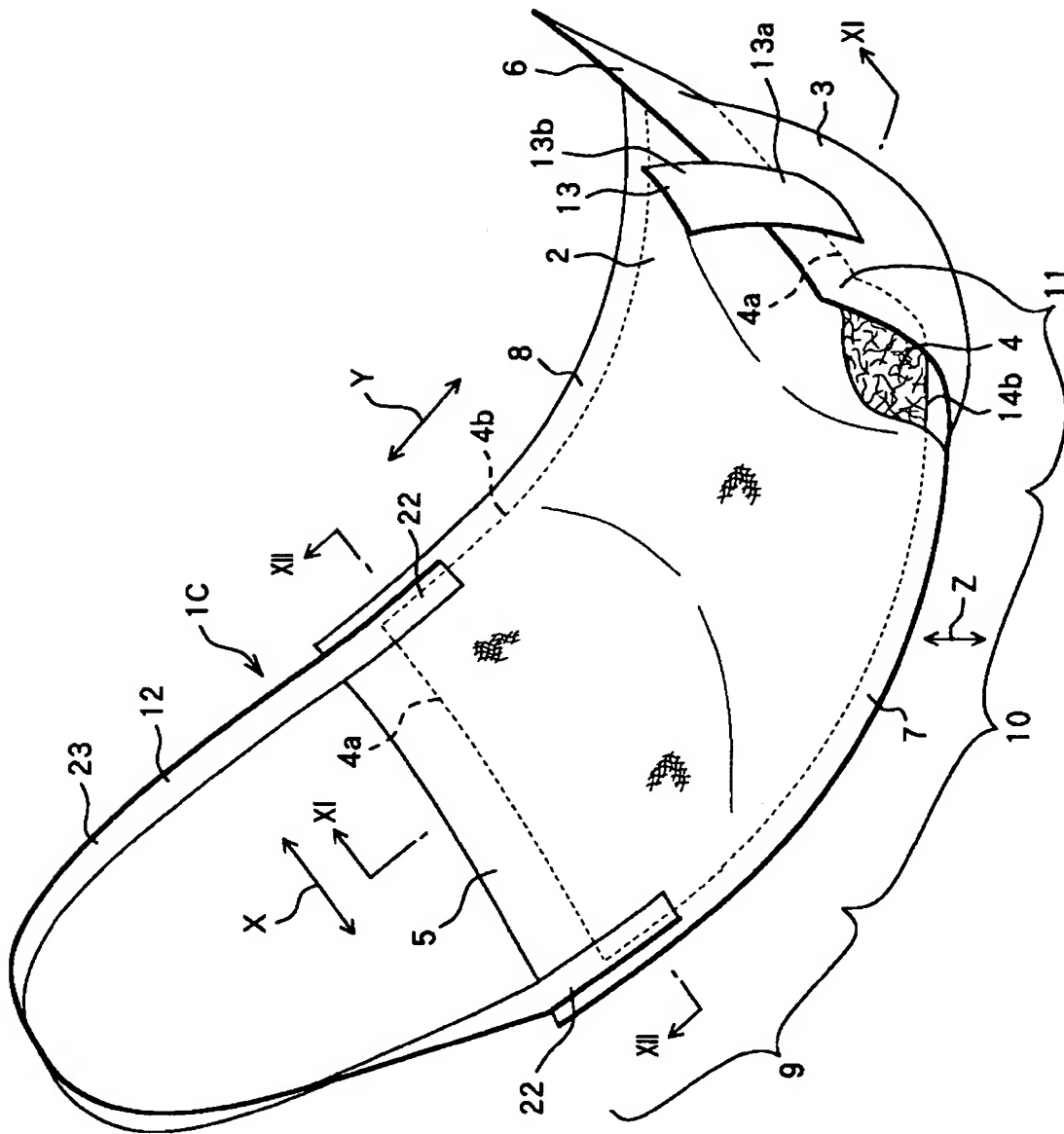
【図 8】



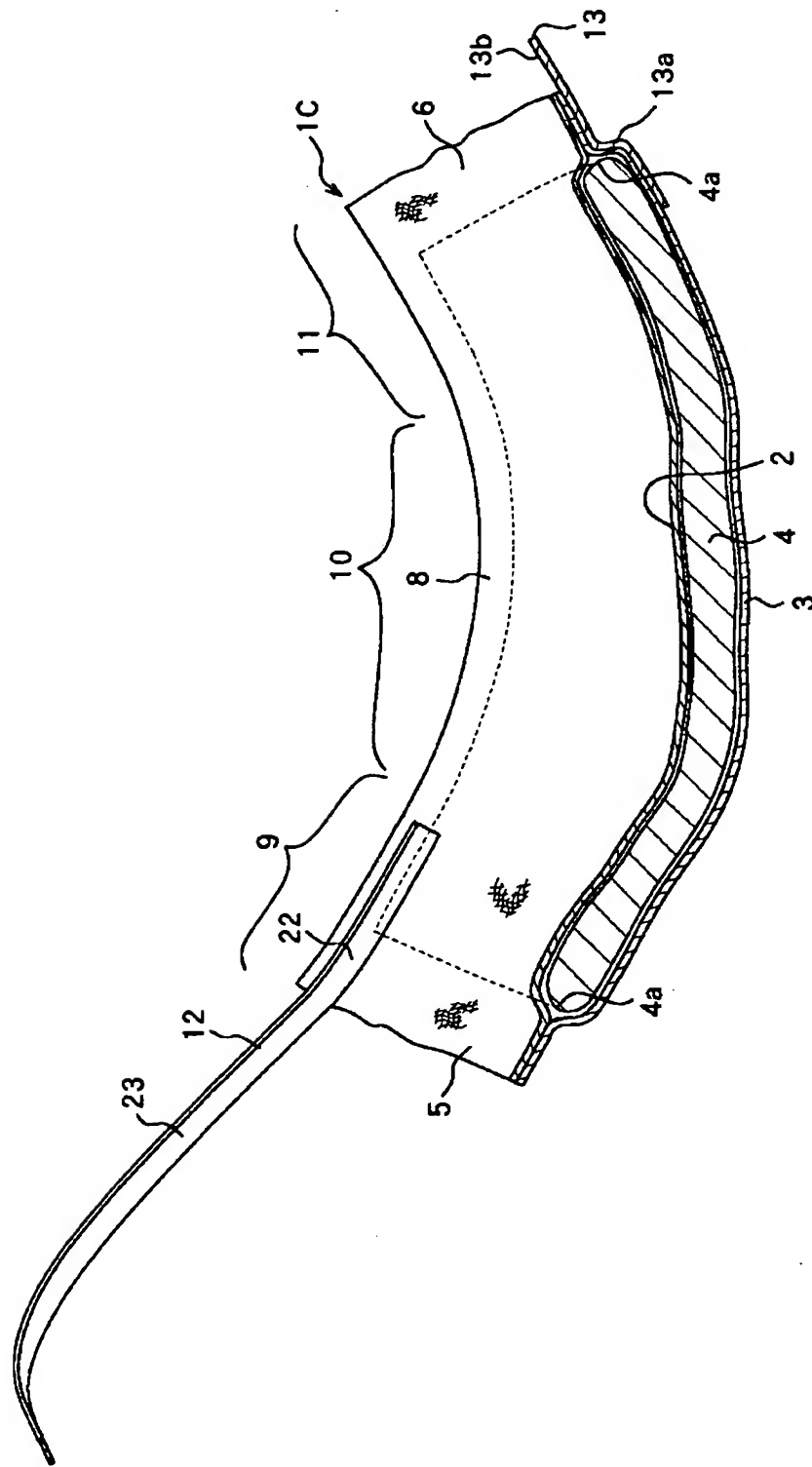
【図9】



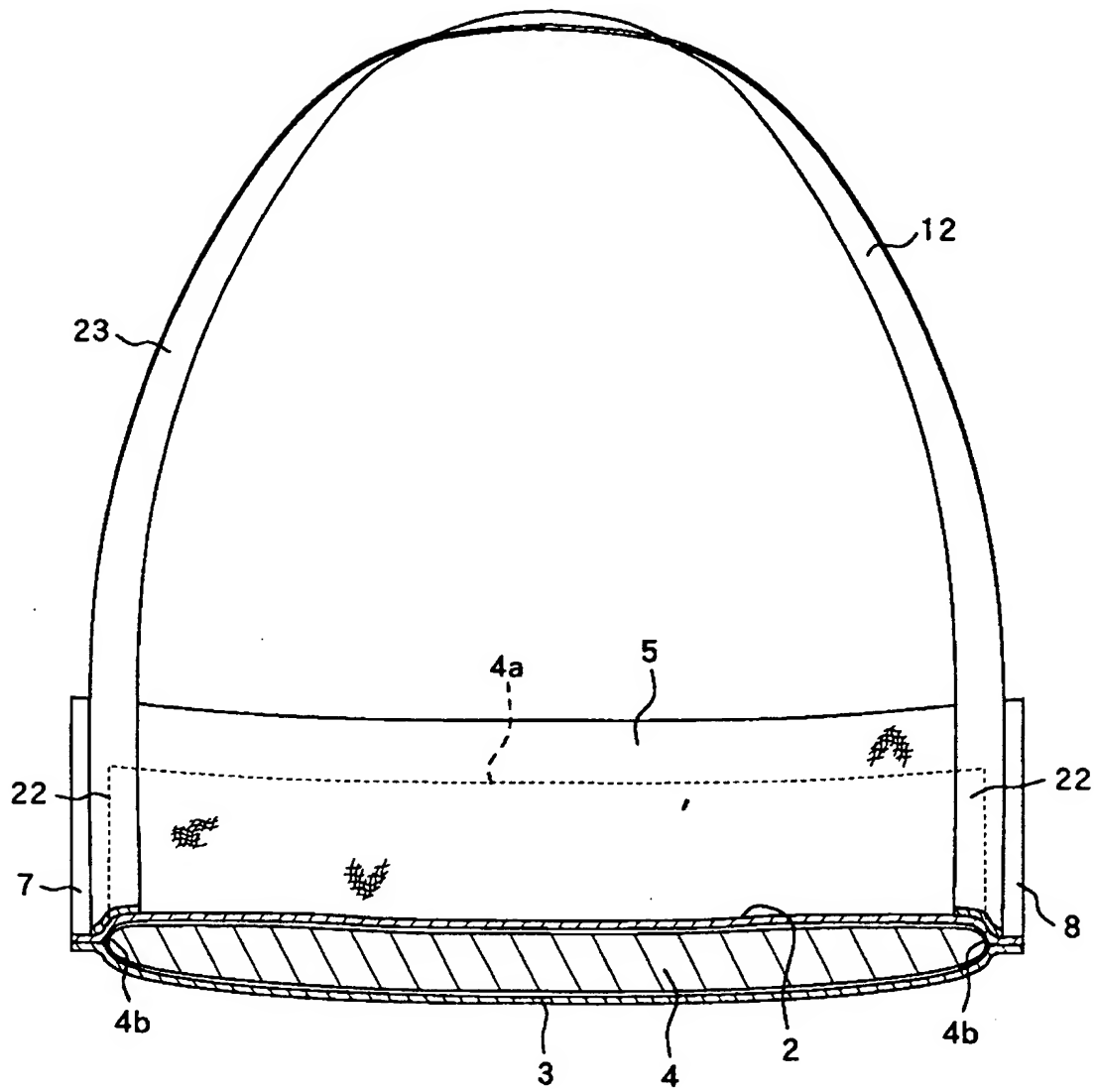
【圖 10】



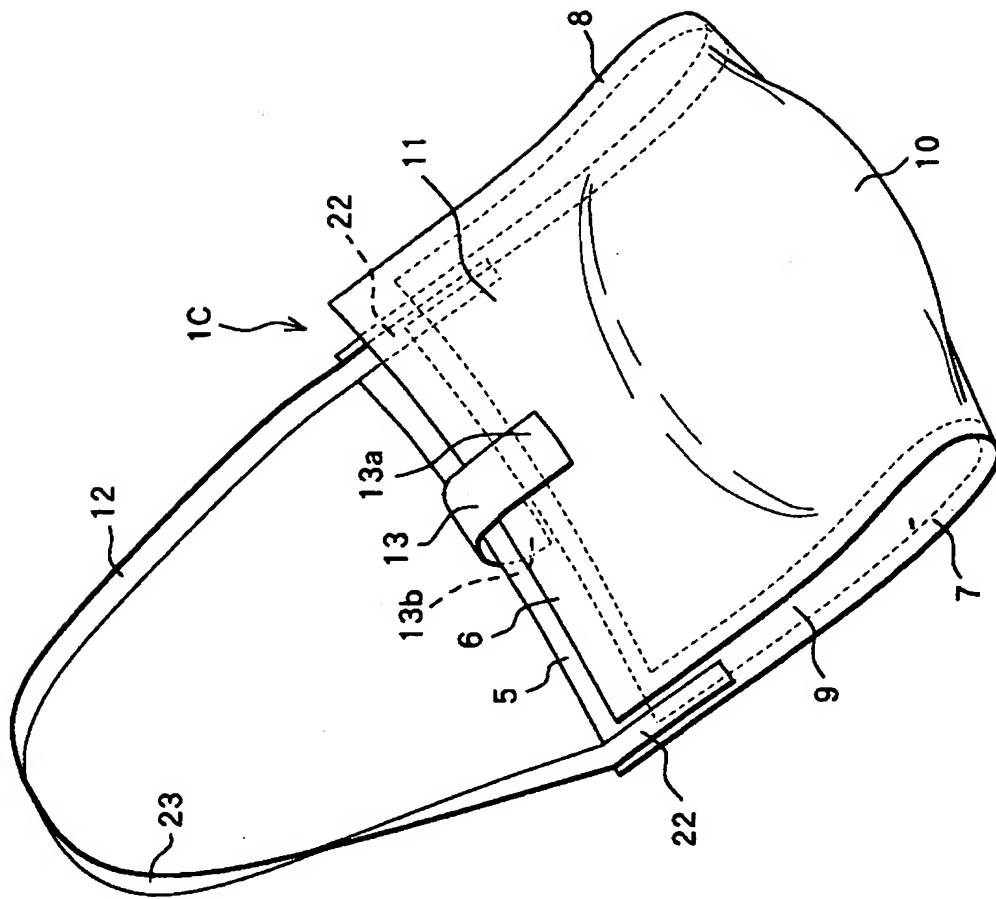
【図 1 1】



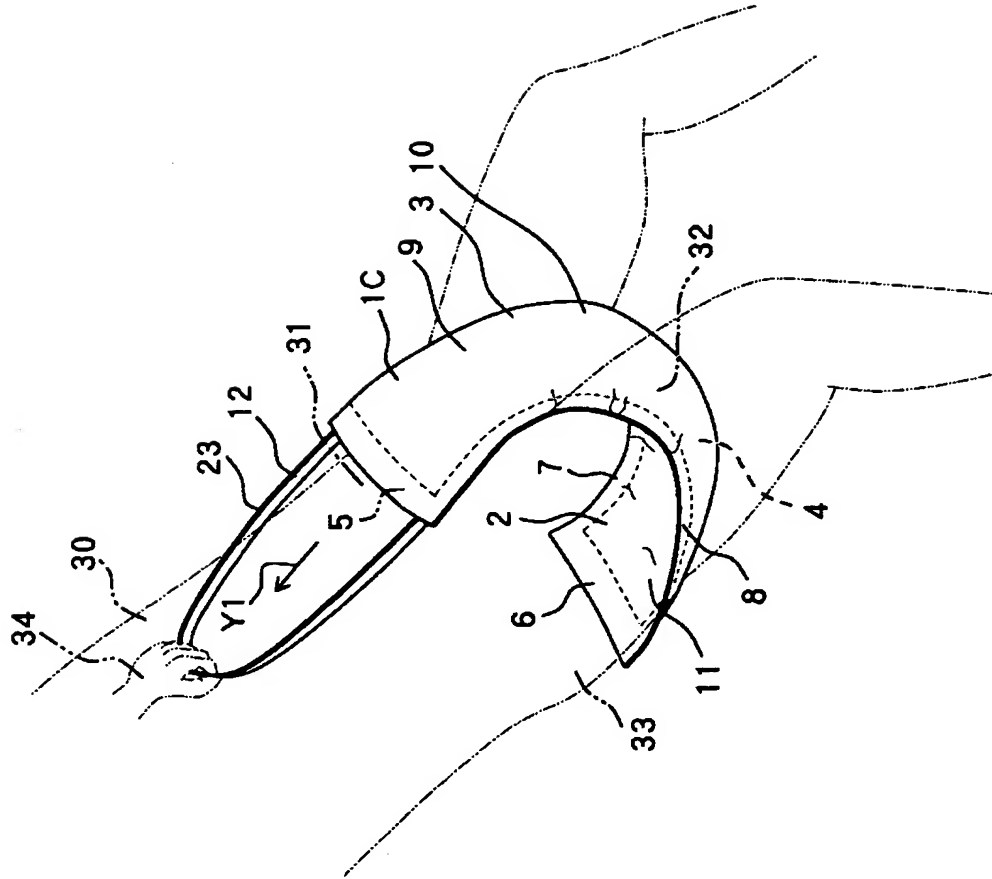
【図 1 2】



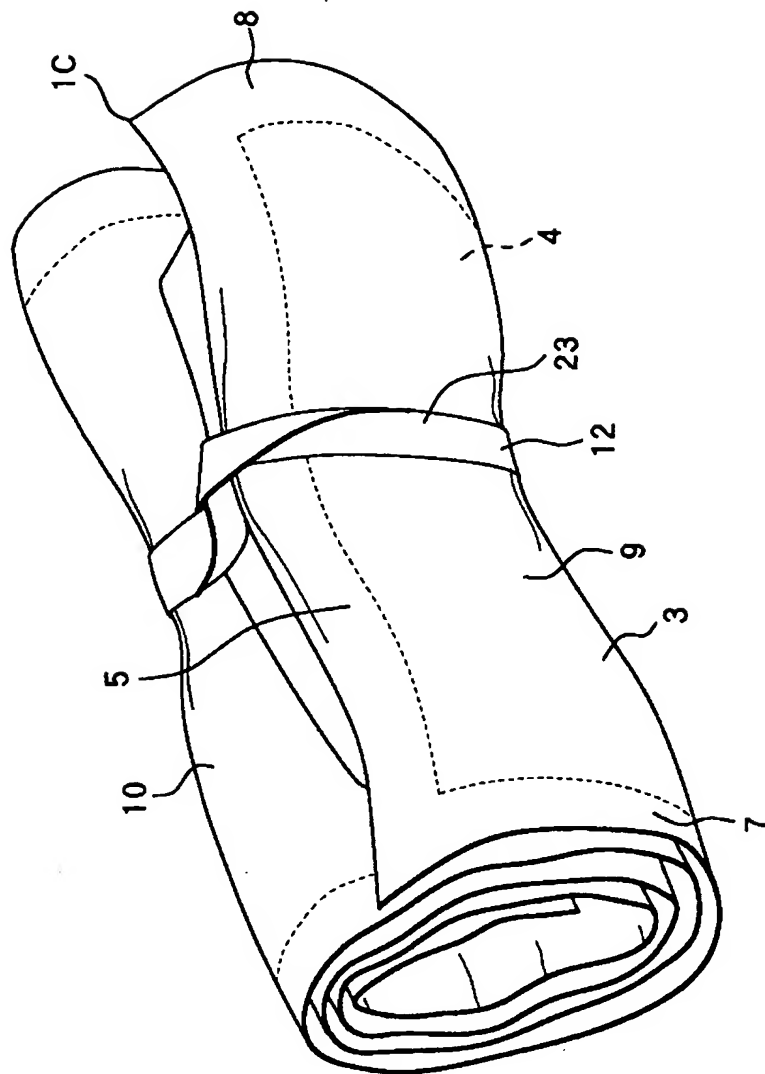
【図 13】



【 図 1 4 】



【図 15】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 着用に手間を要せず、パンツを介さずに着用者の肌に密着させることができる使い捨て体液吸収パッドを提供する。

【解決手段】 透液性表面シート 2 および不透液性裏面シート 3 と、それらシート 2, 3 の間に介在する吸液性コア 4 とから構成された使い捨て体液吸収パッド 1 A が、それを縦方向へ引っ張ることが可能な帯片を有し、帯片が、パッド 1 A の両側縁部 7, 8 に配置されて前域 9 の端縁部 5 から縦方向外方へ延びる一対の第 1 および第 2 帯片 1 2 a, 1 2 b から形成され、それら帯片 1 2 a, 1 2 b が、表面シート 2 に固着された内側固定部 1 5, 1 8 と、裏面シート 3 に固着された外側固定部 1 6, 1 9 と、内側固定部 1 5, 1 8 と外側固定部 1 6, 1 9 との間に延びる把持部 1 7, 2 0 とを有する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000115108]

1. 変更年月日 1990年 8月24日
[変更理由] 新規登録
住 所 愛媛県川之江市金生町下分182番地
氏 名 ユニ・チャーム株式会社